

平成20年度第4回八幡地域協議会会議録（概要）

日 時 平成20年12月2日（火）午後1時35分～午後3時15分

場 所 八幡中央公民館 大ホール

出席者（14名）

1号委員 佐藤善一 阿曾美智子 荒生三雄 小野明美 御船孝

2号委員 後藤純子 村上三喜郎 後藤甚一 小野満洲雄 土井廣 高橋知美

3号委員 田村和徳 池田善幸 後藤泉

八幡総合支所：支所長 後藤登喜男、地域振興課長 松田文夫、市民福祉課長 村上秀一、
建設産業課長 後藤修、教育振興室長 土田清一、八幡病院事務長 小松秀司
商工観光主査 阿部武志、地域振興課 永森忠嗣・御船正周・佐藤義夫

欠席委員 堀茂雄委員

傍聴者： なし

議事日程

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会議録署名委員の指名

4 協 議

(1)観光振興について

「玉簾の滝」を主体にした“まちづくり”の具体策

(2)その他

5 総合支所からの報告事項等について

(1)コミュニティ振興組織説明会の状況について

(2)都市計画税説明会の状況について

(3)市・県民税申告相談会場の変更について

(4)その他

6 閉 会

1 開 会

○**事務局** 本日はお忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。それではこれより、第4回地域協議会を開催します。都合により欠席の委員は、堀茂雄委員です。会議次第に従って、小野会長から挨拶をお願いします。

2 会長あいさつ

○**小野会長** 昨日から師走となり、本年も30日をきりました。これまで本協議会では、玉簾の滝をメインに、観光のまちづくりを協議してきましたが、今回は委員から提出された意見等に対する担当課の見解を伺えるものと思います。お忙しい中ですが、本日の協議会について、よろしくをお願いします。

3 会議録署名委員の指名

○**事務局** 会議に入る前に、会議録署名委員の指名を行います。今回は、“7番の後藤純子委員”をお願いしたいと思います。後藤委員よろしくをお願いします。

○**後藤純子委員** わかりました。

○**事務局** それでは早速協議に入ります。会長が議長となり協議を進めていただきます。

4 協 議

○**小野議長** それでは協議に移ります。初めに、観光振興について～「玉簾の滝」を主体にしたまちづくりの具体策～に関して、前回委員から提出された意見及び提言の検討状況等の報告を、担当課からお願いします。その後、報告内容を踏まえた意見交換を行ないたいと思います。では、建設産業課からお願いします。

○**阿部商工観光主査**（資料No. 1に基づき説明）「ららら」の売店の活性化については地区にも協力を依頼しながら進めていきたい。季節ごとのイベント開催等については、現在実施中のものは継続するとともに、一般の協力を得られるように働きかけていく予定です。玉簾の滝まつりを地域挙げての大イベントにしてはどうかについてですが、実行委員会だけでなく、地域を巻き込んだイベントに発展させていく方策を考えていきます。パンフレットの作成及び配布による八幡の宣伝等についてですが、滝を中心としたパンフレットの作成を検討したい。それから、旅行会社・バス会社との連携及び売込みについては、県内外のエージェントへの売込みを継続するとともに、全てのツアー情報を事前に提供してもらうように交渉していきたい。

○**小野議長** ただいま担当課からこれまでの意見等の検討状況の報告がありましたが、皆さんからご意見をお願いしたいと思います。

○**後藤甚一委員** 「ららら」の売店の活性化の中で、升田地区とも協力しながら進めていくとあるが、それについて伺いたい。

○**後藤建設産業課長** 実は7月29日に、升田区長及び「ららら」の組合長さんらと共に、現状や経営状況等の話し合いを行いました。厳しい状況だ、ということでした。道路網は整備され大型バスは来るものの、施設の利用はなく、トイレ利用のみのため、売上

げは伸びていません。このため、市の対応を求める要望等も出されました。今後、検討会を設け、どういう方向にもっていけばいいのか、地元からも様々な意見を出していただきたいと考えています。

○小野議長　ほかにありませんか。

○村上三喜郎委員　イベントの開催等が売店の利用につながれば、うまくいくと思います。今暫くは、何とか持ちこたえられるような具体案を作ることが必要ではないか。前回、温泉施設の設置を提案しましたが、是非総合計画の見直し時に盛り込んでいただけるようお願いしたい。バスが何十台も来ることがあり、取り組みによっては、もっと発展する観光資源だと思う。例えば、インターネットによる八幡の魅力募集などはすぐできることではないか。

○後藤純子委員　35台もバスが来るツアーの内容、どこから来て、どこで昼食を取るのか、等を把握することが必要ではないか。そうしたツアーは日帰りが多いのでしょうか。

○阿部商工観光主査　日帰りが一番多いようです。現在、観光物産協会で宿泊状況調査を行い、当地区も含め、どこに泊まり、どういうルートで回っているのか、観光客の動きを把握しようとしています。

○後藤純子委員　いい商品がないからトイレ利用のみで終わるのであって、いい物があれば買うと思います。バスがいつ来るか分かれば対応が可能ではないでしょうか。昼食としての地元弁当をパック旅行に組み込んでもらうような売込みが必要だと思います。現状をみると、そうした売込みの方法、力が足りないような感じがします。

○小野議長　当局で意見はありませんか。

○後藤建設産業課長　「ららら」は組合で運営されておりますが、ほとんどが地元の高齢者の状況です。例えば、産直たわわは年間の売上げが1億円にもなる状況であり、それを手本にしたような運営形態ができないのかどうか。今年度は、指定管理者制度による最終年度となっておりますので、升田区も含めての協議を検討したい。

○後藤純子委員　前に、東北電力の発電所見学で、玉簾の滝に行きましたが、その際もトイレ休憩だけでした。何かいい物があれば時間を取るのではないかと、思います。

○村上三喜郎委員　先ほどもバスツアーの利用の話がありましたが、土産品は1度作っても、それが継続しないと難しい。例えば、大台野地区のそばを昼食としてもらうよう交渉する等、まずやってみることが大切ではないか。最初は、PRのため無料サービスにしてもいいし、滝の里ふれあい館を昼食会場として利用する方法もある。それから、ツアーへの対応の仕方、いつお客さんが来るのかわからないのに、売店に人を張り付けることは難しい、という事情がありますので、その辺を検討していただきたい。

○御松孝委員　最上川の船下りですが、お土産品が豊富で、特に女性は乗る所で買い、降りる所でも買うという状況で、観光地には魅力あるお土産品が必要だと感じます。その景色・食した物・お土産品が一体となり、その場所の思い出になると思います。滝を見学した後に、郷土食等を食べさせる所があればすごくいいのではないのでしょうか。私も今、ゆべしを試作しており、売店に提供できれば、とは思っています。

○後藤純子委員　先ほど、ふれあい館の話が出ていましたが、スペースはあるのですか。

- 後藤支所長** 滝の里ふれあい館については、指定管理者ということで、NPOの鳥海いぶきが指定を受け、運営を行っています。駐車場にはバス1～2台の収容は可能で、そのぐらいの人数であれば、りっぱな部屋もあります。昼食については、そこで調理するのか、例えば「ららら」で弁当を購入し食べるだけなのか。調理を行うと、保健所の許可等の問題もあります。最初は食べる場として利用し、その後に調理について検討していく方がいいのではないかと考えます。
- 佐藤善一委員** 観光という仕事に携わって感じることは、お客さんが何を求めているかをとらえることが大切だ、ということです。鳥海山荘を利用する人で玉簾の滝だけを見学する人はいないはずで、バス35台云々、という話がありましたが、市内の観光地を巡った後のプラスワンの観光場所ではないか、と考えます。仮にオンリーワンを目指すには様々な方法があると思いますが、ツアーのバスガイドに売店のお土産の提供を行えば、お客さんにインフォメーションされ、それを元に購入したりするのではないか。先日、神戸方面に行った時、淡路島の道の駅でのことですが、「玉ねぎのスープ」を販売しており、淡路島は玉ねぎが特産なのだ、というPRがあった。旅行エージェントやツアーガイドに観光地の情報を伝えることが大切で、少しでも滞在時間を延ばすようにすることで、升田地域の振興にもつながるのではないか。
- 小野明美委員** 鳥海いぶきでも「ららら」の休憩所として、滝の里ふれあい館を利用できないか考えており、今後、連携してやれることはないのか検討しています。
- 後藤支所長** 実際、どこの旅行会社とバス会社が来るのか、「ららら」でも観光物産協会でも把握していないのが現況です。観光時期になりましたら、土日でも人を張り付け、どこのバス会社が来るのかを調査したり、エージェント会社にあたるという方法が考えられると思いますが、今後検討していきたい。
- 小野議長** そのほかにありませんか。
- 池田善幸委員** 玉簾の滝に以前と比べると人が多くなったことはうれしい反面、昔あった植物等がなくなるデメリットもあり、観光客が来れば必ず活性化する、ということではない。また、地元の協力を得て、という報告があったが、高齢化が進み、小学校も統合し、人は少なくなるため、協力できる人自体もいなくなる現実がある。最近、食品の安心・安全が叫ばれており、新聞で報道された升田かぶ等、地元の食材を研究する必要がある。また、ただ観光客から来てくれればいいだけでなく、いい所はそのまま残す、という発想も大事ではないか。
- 佐藤善一委員** バスが何台来るとかの情報は観光物産協会に入っているはずなので、情報のやり取りや共有をスムーズにできればいいのかな、と思います。
- 阿部商工観光主査** 観光物産協会からは台数の多い分については連絡が来ますが、売店を開けてもらいたい、除雪はされているのか、除雪されていないとすれば対応を依頼するような内容がほとんどで、売店の売上げを伸ばすような視点は欠けていたと思います。
- 後藤泉委員** 升田地域の人から、自分たちの玉簾の滝をどうするのかを徹底的に議論してもらい、そこから出てきた意見を市から汲んでもらう必要があると思います。以前、滝の里活性化委員会でいろいろやってきましたが、それが活かされていないのではないか。

その時に作った報告書を見直したりすれば、いい所がいっぱい見えてくる。それから、要望があればインタープリター協会で、玉簾の滝の案内をしていますが、毎年2月の第1週の日曜日に「氷瀑の滝ツアー」を募集しておりますが、今年はリニューアルし、バスで駐車場まで来るようにすることを会議で決め、市広報に載せてもらうようにしました。内容としては、社会福祉協議会のバスを借り、市役所を午前7時半に出発し、滝とバラ園を見学。その後、雪の升田を歩いてもらい、昼食はけんぞの家でコンサートを聞きながら摂ってもらう、「氷瀑の玉簾の滝、冬満喫ツアー」を企画しました。地域でも考えていただいてこうした企画を実施したりすれば、地域の活性化につながるのではないかと考えます。

○**後藤支所長** 升田に来るのだとすれば、インタープリター協会でも升田の地域のためを考えてやっていただきたい、と思います。

○**後藤泉委員** バラ園も含め、升田のいろいろな所と連携ができれば良いと考えています。

○**村上三喜郎委員** 元々、滝の里活性化委員会は区長に答申する組織だったが、その後、区長が委員会の会長になり、委員会の性格が変わってしまった。今現在、委員会は休眠状態ではないか。

○**田村和徳委員** 先日、升田に行き、実際に住んでいる人の話を聞いたのですが、5年後には世帯数が激減し、この場で意見交換をしている時間がないように感じました。話はいいので、具体的に何かを立ち上げるべきではないか。有志を募り、一步踏み出すときだと思います。

○**後藤支所長** 何かあると一致協力するなど、升田は地域力がある所です。せっかく本協議会で升田の振興を目指す議論をしているので、皆さんと協議し、より良い方向性が出せれば良いと考えています。

○**小野議長** 皆さんからいろいろ意見をいただきましたが、担当課を中心に今後の方向性が議論されるのではないかと考えます。それでは、「玉簾の滝」を主体にした“まちづくり”の具体策についてはこのぐらいにして、委員から地域課題があれば出していただきたいと思います。

○**土井廣委員** 市条保育園の改築について、公民館脇に土地があるわけですが、その後についてどうなったのか、お聞かせ願いたい。

○**松田地域振興課長** 本件については、建設計画に入っており、順調に進めるための働きかけをしているところです。用地取得について、地元との経緯もありますので、その辺も含め担当課へお願いしていきたい。

○**土井廣委員** 前の話ですと、小・中学校の統合問題が終了後に、保育園の問題に取り掛かることになる、とのことでしたが、現施設が大分老朽化しており、急いだ方がいいのではないかと、思います。それから、公園線と国道344号線との交差点は信号が設置されておらず、危険な状態となっておりますが、今後の設置予定を教えてください。

○**後藤建設産業課長** 警察署の話ですと、信号機を1基設置するのに、7～8百万円かかると言われており、予算の関係で、直ちに設置するのは難しい状況です。市としても警察署にはお願いしておりますので、今暫くお待ちいただきたいと思います。

- 土井廣委員** 信号機の設置については、よろしくお願ひしたい。それから、これは提案ですが、本協議会の委員と市議会議員との懇談会をしてはどうでしょうか。
- 後藤支所長** 信号機の設置については、予算等の関係があるためご了解願ひたい。それから、議員との懇談会については、委員の皆さんに諮っていただくとともに、地元選出議員にも話しをし、了解を得られるとすれば可能ではないでしょうか。
- 小野議長** ただ今、土井委員から提案のあった、議員との懇談会について皆さんいかがでしょうか。
- 田村和徳委員** 議員の対象は、地元から選出されている議員という意味ですか。
- 土井廣委員** そうということになります。
- 小野議長** 地元の選出議員との懇談会ということですが、どうでしょうか。

(賛成の声あり)

- 小野議長** 賛成という声がありましたので、そのように取り計らいたいと思います。
- 後藤甚一委員** 先ほどの信号機の件ですが、その場所は危険なので、防災無線で注意喚起をしておいた方がいいと思います。
- 松田地域振興課長** 場所を特定しての案内は適当ではないので、冬季間の交通安全、ということで実施したいと思います。
- 小野議長** これまでの意見交換を踏まえ、市長への提言書に盛り込む内容についてですが、事務局と正副会長との間で話し合い、その原案を皆さんにお示しする形にしたいと思いますが、いかがですか。

(異議なしの声あり)

5 総合支所からの報告事項等について

- 小野議長** ではそのように決めさせていただきます。では、5の総合支所からの報告事項等について、各担当課から説明をお願いします。
- 土田教育振興室長** (資料No. 2に基づき説明) 11月19日から26日までの中の4日間、地区ごとの説明会を開催しました。昨年度から本格的に関係者に説明等が行われ、現在、設立に向けての準備作業、21年4月からの事業開始の予定となっています。各説明会での主な質問として、除雪に対する支援、会費の問題等がありました。会費については、事業を多く行えば、その分負担も増えるわけですが、世帯数の違いもあり、500円～3、4千円まで各地区、バラバラの状況です。今後は、3月下旬にコミ振の設立総会を開催し、4月1日にスタートの予定です。コミ振の運営が軌道に乗るまで時間がかかると思いますので、行政としてもスムーズにいくように支援を検討したい。
- 小野議長** 次に、都市計画税説明会の状況について及び市・県民税申告相談会場の変更について、お願いします。
- 村上市民福祉課長** (資料No. 3に基づき説明) まず都市計画税の説明会の件です。合併

時の協議では税率の統一の時期は未定でしたが、一番住民負担が少ないのが平成22年度ということから、10月23日と28日に説明会を開催し、22年度分からお願いしたいという内容の説明をいたしました。税条例の改正は12月議会に提案予定です。次に、市・県民税の申告会場の変更についてです。例年通り、2月9日～3月9日に申告相談を予定しておりますが、今回は大沢公民館と日向公民館を各2日ずつということに変更となり、その件について、11月11日と13日に地域説明会を開催しております。会場の広さ等の問題もあったため、会場を変更したもので、地域の皆さんからは了解をいただいたものと考えております。

○松田地域振興課長 県知事選挙の件で説明いたします。1月8日告示、1月25日投票の日程で、投票場所は修道館、また期日前投票は、中央公民館第一会議室を予定しています。

6 閉 会

○小野議長 これまでの報告の内容について、皆さんからありませんか。ないようですので、このあたりで、本日の地域協議会を終了したいと思います。